

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2018年 春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

E-mail:sato@sendai-komei.jp URL <http://www.sato-kazuko.net>



一人の声を大切に! 100万人の笑顔のために!

あした
あなたの未来に笑顔と元気を!

本年2月に開催された平昌オリンピックで、^{ピョンチャン}フィギュアスケートの羽生結弦選手が怪我を乗り越え、金メダル2連覇という歴史的快挙を成し遂げました。仙台市民、東北の被災地にとって、どんな逆境にも負けず、ひたすら前へ進んできた勇姿に、今再び、感動と元気をいただいたと思っております。

さてこの度、平成30年度予算審議である第1回定例会での議会質問等のご報告として「さとう和子スマイル通信春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。今後もよりよい市政を目指して全力で取り組んでまいります。

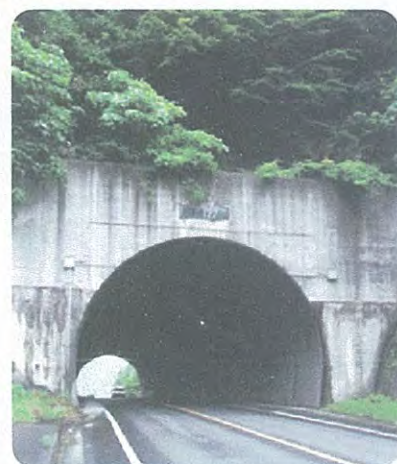
2018年4月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

■茂庭地区の県道仙台村田線の道路拡幅4車線化等を求めました!

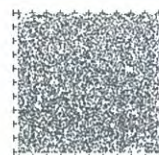


県道仙台村田線は、昼間12時間で2万台を超える交通量の多い幹線道路であり、茂庭台地域の住民にとって、団地から抜ける一般道路はこの県道のみであることから、日常的な渋滞の現状や災害時、緊急時の懸念のお声が多く寄せられております。

また、生出・茂庭地区は土地区画整理事業で商業施設等が立ち並び、地域環境が変化していることや団地内も復興公営住宅100戸整備、多数の福祉施設・医療施設、看護専門学校については、災害時、支援が必要な妊婦や乳幼児の避難場所として仙台市の「周産期福祉避難所」に指定されていることなど重要な施設があります。住民の長年の要望である4車線化、^{まごいし}馬越石トンネルの歩行の安全、茂庭交差点付近の歩道整備を強く求めました。(質疑内容は裏面をご覧ください)



まごいし
馬越石トンネル



(平成30年2月21日)



◆復興公営住宅のコミュニティ支援について

質問：復興公営住宅入居者等の交流の機会づくりを進め、被災者のコミュニティ形成に向けた取り組みへの支援を行う「被災者交流支援事業」について、平成30年度も、多くの団体が活用できるよう周知の強化と平成31年度以降も引き続き財源を確保し取り組むべき。

答弁：来年度も引き続き、社会福祉協議会など関係団体と連携しながら、丁寧な周知に努め、平成31年度以降の事業継続に必要となる財源の確保に向け、国に対して要望等をおこなってまいりたい。

◆秋保地区の二口林道全面舗装に伴いトイレの増設について

◆県道仙台村田線について

質問：道路拡幅4車線化、馬越石トンネルまごいしの通行の安全整備をすべき。

答弁：馬越石トンネル付近の道路拡幅に対して、新たにトンネルを作る場合については、自然環境保全地域に指定されているため、トンネル上部のけもの道の確保などの課題があることから、これまで既存の道路を活かしながらの拡幅ができないか検討してきたところである。県道仙台村田線の折立から茂庭交差点にかけての区間は、都市計画道路茂庭折立線として幅員16mの2車線で計画決定され、概成済みがいせい(整備が終わっていること)となっている。4車線化に向けての取り組みについては、まずは狭あい部である馬越石トンネルにおける通行の安全と円滑化に向けた拡幅などの検討を進めてまいりたい。

質問：茂庭交差点付近の未整備となっている約400m分の歩道を整備すべき。

答弁：全市的な観点で歩行者数や沿道の土地利用かんあんの状況などを勘案しながら整備の必要性の高いところから検討してまいりたい。



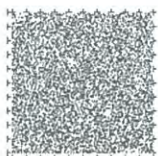
◆◆予算等審査特別委員会◆◆

市民費(2月28日)健康福祉費(3月5日)土木費(3月7日)

◆コミュニティセンターへのAED設置について

◆認知症の方とその介護家族の在宅支援について

- ・認知症本人や家族が地域で気軽に参加できる認知症カフェについて、利用する当事者のニーズに合った内容の充実や工夫、周知の強化。





- ・介護家族が孤立しないよう訪問型支援の推進強化。
- ・認知症本人に焦点を合わせ、自らの体験から他の認知症の人にアドバイスするピアカウンセラーの育成。
- ・若年性認知症の支援体制の拡充として、就労継続や障がい福祉サービスなどをつなげる「若年性認知症支援コーディネーター」の設置。

◆平成18年4月18日に県指定の「自然環境保全地域」に追加された
まごいし
 馬越石トンネル上部についての
 認識と規制について



◇◇ 皆さまの声をカタチにしました!(実績抜粋) ◇◇

平成30年度に予算化され新規事業として実施することになりました!

■秋保地区の駐車場2か所増設

秋保大滝は混雑する紅葉シーズンに間に合うよう、現在112台ある駐車場をさらに増設し、磐司岩を眺望できる姉滝ばんじいわ付近への整備は県の林道工事スケジュールとの調整を図りながら早期供用を目指す。



■AED(自動体外式除細動器)が全てのコミュニティセンターへ設置

「仙台市市有施設におけるAEDの設置指針」が改正され、コミュニティセンターが、震災後、補助避難所に位置づけられたことから「AEDの設置が望ましい施設」に追加した。4月以降、適切な管理運営体制などの準備が整った施設から順次設置。



■がん患者の社会復帰支援のため、医療用ウィッグ(かつら)購入費の助成制度を導入。(上限2万円)



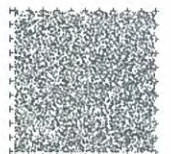
■不妊に悩む方への特定治療支援(医療保険が適用されない体外受精、顕微授精)の助成額を拡充。(5万円上乘せ)



■産後うつ防止のため、出産後間もない時期(産後2週間、1か月)の産婦健康診査の費用を助成。(1人あたり5千円×2回分)健診等により、育児不安を抱え支援が必要な産婦に対して医療機関等で産後ケアを実施。



■復興公営住宅の家賃は、現在、低所得世帯を対象とした国の「特別家賃低減事業」により軽減されているが、入居後6年目から段階的に引き上げられることから本市独自の減免措置を求め、10年目まで据え置くことになりました。



※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)

視察・活動

- 仙台市教育委員会へNPO起立性調節障害東北仙台親の会の皆さまと共に「起立性調節障害が児童生徒への正しい理解と学校生活での適切な支援と配慮を求める要望書」を提出 (1月15日)



起立性調節障害とは

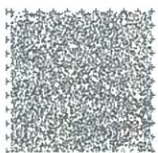
* 起立性調節障害とは、主に思春期に発症する自律神経失調症で、脳などに十分な血液が流れず、だるさやめまい、頭痛などの様々な症状がある。朝に起きられず、午後から調子が良くなる傾向があるため「怠け・さぼり」と誤解されやすい。個人差があるが、成長とともに自律神経のバランスが整い、症状が改善することが多い。

- 新たな地方公会計制度に関するセミナー参加 (1月22日・青葉区)

- 盲導犬受け入れシンポジウム「盲導犬、いつでもどこでもウエルカム!だれもが快適に生活できる地域づくりを目指して」参加 (2月14日・青葉区)



- 「成田空港の現状と今後の取り組み」と題して、成田空港(株)代表取締役社長 夏目誠氏の講話参加 (3月12日)



- 宮城県保健福祉部へ重度心身障がい児者の家族の会「オープンハートネット」の皆さまと共に「重度心身障がい児者への適切な医療提供及び療育支援を求める要望書」を提出 (1月17日)



- 平成29年度太白区地域活動推進委員会研修会参加 (2月1日・青葉区)

- いじめ問題等対策調査特別委員会 NPO ジェントルハートプロジェクト理事 小森 美登里氏の「いじめ問題について」意見聴取 (2月5日)

- みやぎ生協主催2017年度仙台市議会議員懇談会参加 (2月5日・太白区)

- 仙台市役所に羽生結弦選手の偉業を称え、つり看板を掲示 (2月23日)



- 東日本大震災仙台市追悼式参加 (3月11日・宮城野区)